

TEAC

CA-20 データ転送ソフト取扱説明書
加速度トランスデューサ簡易感度校正器
CA-20

【CA-20 データ転送ソフト 使用方法】

インストール方法は、6 ページを参照ください。

● 接続方法



(アイコン)をダブルクリックし、CA-20 データ転送ソフトを立ち上げます。

<設定>

○ ポート選択

パソコンのコントロールパネル→システム→ハードウェアのデバイスマネージャからポート(COM と LPT)の項目を選択します。

USB Serial Port が COM の何番を表示しているか確認します。

CA-20 データ転送ソフトの COM ポートをクリックし、確認した COM ポートの番号を選択します。(COM1~COM8)

○ ボーレート

初期設定(9600bps)のまま、変更しないでください。

< CA-20 本体準備 >

CA-20 と PC を添付の USB ケーブルに接続します。

※ PC に本機を接続するときは、必ずインストールを行った USB 差込口を使用してください。

CA-20 の電源を ON にします。

(このとき、CA-20 本体メニュー項目の PC Link を “Link” に設定してください。)

上記設定、準備を行うと CA-20 データ転送ソフトの接続表示が、未接続(黄)→接続中(緑)に変わります。

● データ転送

CA-20 からのデータ転送方法は、2 種類あります。

① 単発データ転送

CA-20 にてセンサを計測中、Enter スイッチを押すと CA-20 表示画面のデータが CA-20 データ転送ソフトへ転送されます。

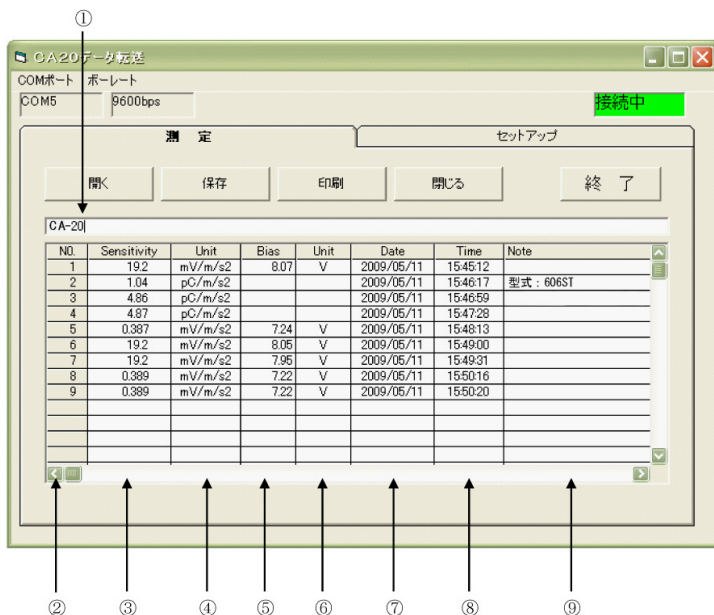
(Enter スイッチは、押すごとに転送され追加されていきます。)

② 一括データ転送

CA-20 メニュー画面の Data Transmit の項目で“Transmit”を選択すると、CA-20 内に保存されているデータが一括で CA-20 データ転送ソフトへ転送されます。

● 表示画面

CA-20 データ転送ソフトは、下図の構成になっています。



① ファイル名

ファイル名を表示します。

新規データの場合は、空欄になっています。

保存したデータを開いた場合は、保存されているデータファイル名を表示します。

② 番号

CA-20 データ転送ソフトへ転送されたデータを 1 から順に表示します。

③ 感度値

転送されたデータの感度を表示します。

④ 感度単位

感度の単位を表示します。

⑤ DC バイアス電圧

アンプ内蔵トランスデューサの DC バイアス電圧を表示します。
(電荷出力型センサの場合は、空欄になっています。)

⑥ DC バイアス電圧単位

DC バイアス電圧の単位を表示します。

⑦ 日付

単発転送の場合は、転送した年、日が表示され、一括転送の場合は、CA-20
に保存した年、日が表示されます。

⑧ 時間

日付と同様に、単発転送の場合は、転送した時間が表示され、一括転送の
場合は、CA-20 に保存した時間が表示されます。

⑨ 備考

備考欄として、CA-20 データ転送ソフト内で自由に書き込むことが出来ま
す。(最大で全角 20 文字)

● 機能説明

○ 開く

過去に保存したデータを開きます。
目的のファイルを選択してください。

○ 保存

CA-20 データ転送ソフトへ転送されたデータを CSV 形式で保存します。

※ CSV 形式のデータ説明は 5 ページを参照ください。

・ 名前をつけて保存の場合

“保存”をクリックし、[ファイル名] 欄に、保存ファイル名を入力、決定
すると保存されます。

・ 上書き保存の場合

“保存”をクリックすると「上書きしますか？」と表示されるので「はい」を選択すると上書き保存します。

※ 「上書きしますか？」の表示に「いいえ」を選択すると、名前をつけて保存します。

○ 印刷

① 印刷する前に、使用するプリンタの印刷設定を行います。

(本ソフトでは、印刷設定ができない為、Windows の<プリンタと FAX>から印刷設定を行います。)

※ 印刷設定方法

- ・ <コントロールパネル>→<プリンタと FAX>をクリックします。
- ・ 使用するプリンタを指定し、右クリック後“印刷設定”をクリックします。
- ・ 印刷設定が終了したら“OK”をクリックします。

② CA-20 データ転送ソフトの“印刷”をクリックします。

<注意>

ここでは印刷設定を変更することは出来ません。①の印刷設定に従ってください。

又、ここで指定したプリンタが<プリンタと FAX>にて設定している“通常使うプリンタ”に変更されます。元の設定に戻す場合は、<プリンタと FAX>から元のプリンタを選択し、“通常使うプリンタ”に設定してください。

○ 閉じる

“閉じる”をクリックすると、表示されているデータを全て削除します。新規データ、追加データの場合は、保存確認が表示される為任意で保存してください。

○ 終了

終了をクリックすると本ソフトが終了します。

<注意>

保存確認が表示されない為、保存されていることを確認し、終了してください。

○ CSV 形式のデータ説明

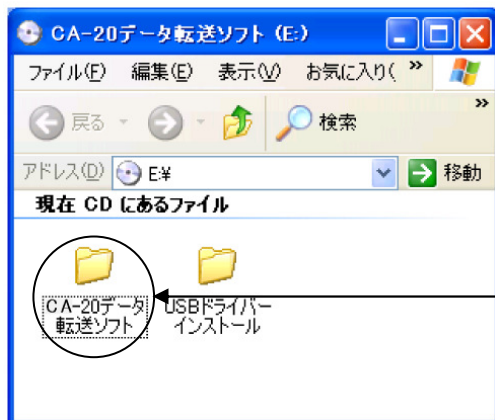
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	19.2	0	0	0	1	0	807	09/05/11	15:45:12			
2	1.04	0	0	1	0	1	31	09/05/11	15:46:17	型式 : 806ST		
3	4.86	0	0	1	2	1	33	09/05/11	15:46:59			
4	4.87	0	0	1	2	1	31	09/05/11	15:47:28			
5	0.387	0	0	0	0	0	724	09/05/11	15:48:13			
6	19.2	0	0	0	0	0	805	09/05/11	15:49:00			
7	19.2	0	0	0	1	1	795	09/05/11	15:49:31			
8	0.389	0	0	0	1	0	722	09/05/11	15:50:16			
9	0.389	0	0	0	1	1	722	09/05/11	15:50:20			
10												

- ① 感度値
感度値を表示します。
- ② 感度単位
“0”はSI単位表示であることを表します。
- ③ 加振加速度
“0”は加振加速度が $10\text{m/s}^2(\text{rms})$ であることを表します。
- ④ 測定モード
“0”はアンプ内蔵型トランスデューサであることを表します。
“1”は電荷出力型トランスデューサであることを表します。
- ⑤ 設定電流値
“0”は設定電流値が 0.5mA であることを表します。
“1”は設定電流値が 2.0mA であることを表します。
“2”は設定電流値が 4.0mA であることを表します。
- ⑥ 設定電圧値
“0”は設定電圧値が 15V であることを表します。
“1”は設定電圧値が 24V であることを表します。

- ⑦ DC バイアス電圧値
DC バイアス電圧は、“表示値×10⁻²(V)” となります。
例) 807=8.07(V)
④の測定モード“1”(電荷出力型センサ)の場合、小さい数字が表示されますが無効な数値です。
- ⑧ 日付
年、月、日を表示します。
- ⑨ 時間
時、分、秒を表示します。
- ⑩ 備考
備考欄に記載した内容を表示します。

【CA-20 データ転送ソフト インストール】

1. 付属の CD に保存されている「CA-20 データ転送ソフト」フォルダ内の setup.exe を起動してください。

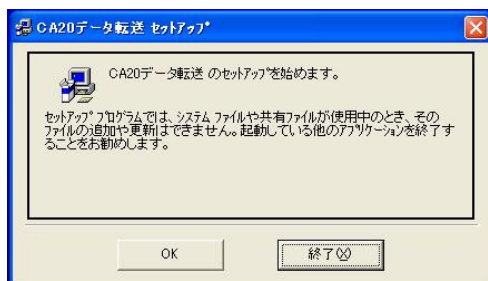


「CA-20 データ転送ソフト」ファイルをクリックします。

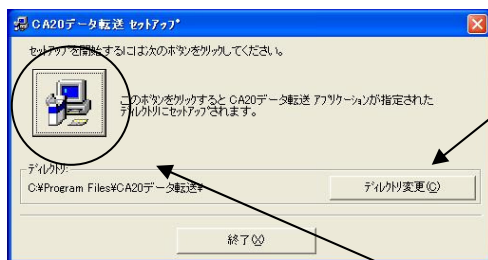


左図の「setup」ファイルをクリックしインストールを開始します。

2. インストーラに従い、インストールしてください。

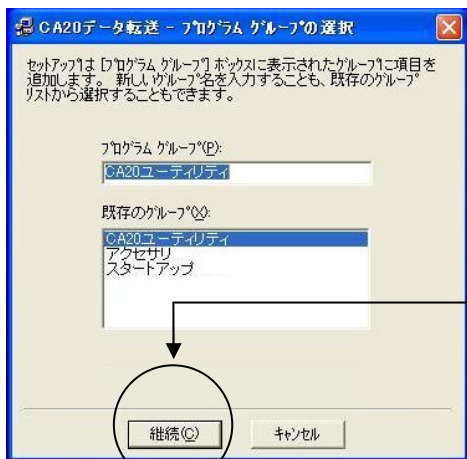


「OK」ボタンをクリックします。

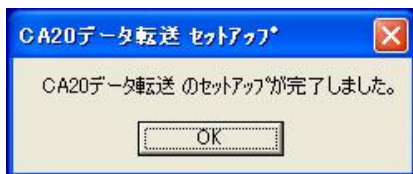


① 「ディレクトリ変更」にて保存先のフォルダを決定します。

② 左上の絵をクリックします。



「継続」をクリックします。

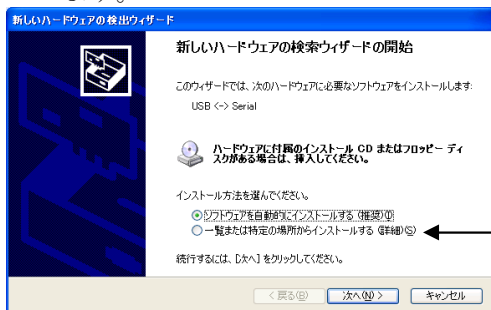


インストールが完了しました。
「OK」をクリックし終了します。

【CA-20 専用 USB ドライバー インストール】

本機を PC に接続すると、最初の 1 回だけ、PC の画面上に「新しいデバイスが接続されました。」という表示がでます。この時に WindowsXP 用 USB ドライバーをインストールします。

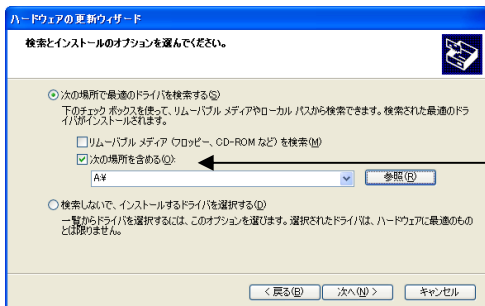
1. 付属の CD を PC にセットします。
2. PC に CA-20 専用 USB ケーブルを接続し、CA-20 の電源を ON にします。



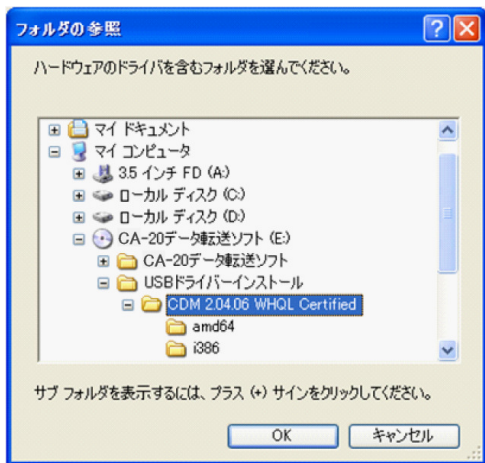
初めて、PC との接続を行うとこの画面が表示されます。

「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。

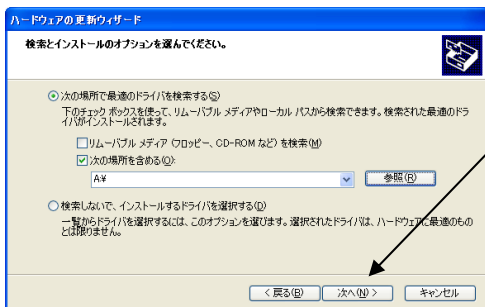
※ 一度上記画面を消してしまったり、表示されない場合は、<システム>の<デバイスマネージャ>より<USB<->Serial>のプロパティを開き、<ドライバーの更新>を選択することで表示されます。



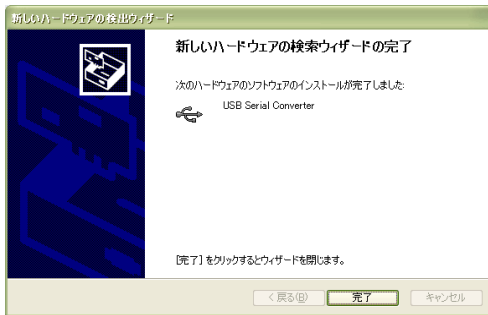
「次の場所を含める」を選択し、「参照」をクリックします。



CD に入っている「USB ドライバーインストール」内の「CDM 2.04.06 WHQL Certified」を選択し、「OK」をクリックします。



再度、左図画面が表示されるので「次へ」をクリックします。



左図の画面が表示したら、「完了」をクリックします。

「完了」をクリックすると、最初に表示された「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。再度これまでの手順を繰り返してください。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面表示が出なくなればインストール完了となります。

<注意>

PC に本機を接続するときは、必ずインストールを行った USB 差込口を使用してください。

別の差込口を使用すると、再度 USB ドライバーをインストールする必要があります。

ティアック株式会社

情報機器事業部 BSビジネスユニット 営業1部

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47 TEL 042-356-9161 FAX 042-356-9185

名古屋営業所 〒465-0093 名古屋市名東区一社 1-79 TEL 052-709-5077 FAX 052-709-5071
第六名昭ビル2階

大阪営業所 〒564-0052 吹田市広芝町 4-1 TEL 06-6330-0291 FAX 06-6385-8849
ミタカビル4階

広島駐在 〒738-0053 廿日市市阿品台 2-5-31 TEL 0829-39-7061 FAX 0829-39-7078

●技術的なお問い合わせ TEL 042-356-9161 FAX 042-356-9185
受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

ホームページアドレス

<http://www.teac.co.jp/>

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。